労働生産性の向上と 働きやすさの支援へ

~福利厚生の在り方を考える~

アベノミクスが提唱している働き方改革が叫ばれる現在、

福利厚生制度も大きな変革の時期を迎えました。

生産年齢人口が減少している状況においては、

福利厚生は限りある従業員の

生産性を高める制度へと変化してきています。

社員食堂、オフィス、住まい(社宅)などの

ハードにも工夫が必要です。

労働生産性の向上と働きやすさの改善へと、

大きく変わる福利厚生についてお話しします。

セミナー概要

2017年3月1日(水) \Box 14:00~16:30(13:40受付開始)

千代田区立日比谷図書文化館 会 スタジオプラス(小ホール)

アクセス ト http://hibiyal.jp/hibiya/access.html

参 加 費 ▶ 無料

員 ▶ 50名 先着順

申込締切 ▶ 2月24日(金) ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

福利厚生の流れと施策検討のヒント ・福利厚生の在り方を考える~



講師

月刊総務編集長 豊田健一

家族丸抱え、一生面倒を見る。もうそんな時代ではありません。 いつ何が起こるか分からない「VUCAの時代」。社員の自立支 援、個々のライフスタイルに合わせた生活支援が福利厚生の大 きな流れです。健康経営も含め、どこまで個人を理解し個人に 寄り添えるかがこれから総務が考える施策の軸となるでしょう。 そんな時代の福利厚生の施策検討のヒントをお伝えします。

■株式会社リクルート、株式会社魚力で総務課長を経験後、ウィズワー クス株式会社入社。総務経験、社内広報コンサルティングの実績を 生かしたコンサルティングや講演など多数。

これからの福利厚生とは ~借上社宅の有効活用~



講師

NTTビジネスアソシエ株式会社 リビング事業部 法人営業部門 部門長 大橋利夫

少子化や働き方改革等の政策により、人材への投資として福利 厚生の重要性がますます高まっています。人材の確保と定着に 大きく影響のある社宅について、事業経営の面からもメリットの ある借上社宅の活用方法をわかりやすく解説します。

■NTTに入社、数千万件規模の顧客を管理するためのシステム開発、 コンサルティング営業の第一線でキャリアを積みながら、マネージャ 一として社員採用・育成業務の経験も豊富。多岐に亘る企画・営業分 野での業務経験を活かし、現在は転貸方式の社宅管理代行サービ ス責任者として、百数十社のお客様へのサービス提供と継続的なコ ンサルティング・改善提案を行っている。宅地建物取引士。

※は必須事項となります

御社名* 		部署名*		役職	氏名*	
企業所在地						
₸						
TEL*	FAX		MAIL*			業種

FAX 403-5312-7476 本ページをコピーの上、必要事項をご記入いただき、FAXにてお申し込みいただくか、「月刊総務オンライン」よりお申し込みください。